

等似中學校「平成おやじの会」

日頃、学校の活動になかなか参加できない父親達が、気軽に参加し、楽しく活動できる父親達の場を作ろうと、できたのが等似中學校（越後修校長）の父親で作る「平成おやじの会」。11月で丸4年を迎えます。



現在、会員50名。その活動内容は、

1. 環境整備
 2. 子どもとの交流
 3. 先生と親との交流
 4. 全ての運動部との交流試合
 5. 広報誌発行、ホームページ作成
- 主な例では、花壇の整備、サッカーゴールの塗装、ゴミ拾いなどの環境整備。お父さんの特技を生かしたパソコン教室、そば打ちなど、親も子ども先生も、参加できる企画を次山行ってきました。

特に今年の6月16日父の日、日曜朝の2時間目に行われた「おやじからのメッセージ」と題した特別授業は、大盛況でした。おやじの会の会員が講師となり、1年生から3年生の全21クラスで、職業観や経歴談など、思い思いの授業を行いました。子ども達の反応も予想以上で、お父さんの授業は、心に響くものがあ



ったようです。また、保護者の参観もいつもより多く、親としての関心が高いことも伺えました。

「お父さんが学校に出入りすることで、先生以外の目があるのは嬉しい。」と、学校担当の奥井先生。「顔を覚えてくれて、学校ではもちろん、街で会っても挨拶してくれる。」「地域での繋がりが、子どもが卒業してからも続いて行くことが大切。」



と、会長の牛田さん、会員の加藤さんと、石川さんが話してくれました。

そして何よりも、お父さん達が、〈家庭と職場〉の他に、地域での居場所を見つけ、友達のを広げることが、地域全体で子育てをすることに繋がるのではとのことでした。

等似中學校の「おやじパワー」を一緒に楽しめる資格のある方は、子どもが琴中に在籍か、卒業生の父親であること（年会費2千円）、全ての



行事に参加する必要はなく、得意な分野でのお手伝いで構いません。

スポーツ交流では、ゼイゼイいながら走った後の冷たいビールや、ゴミ拾いの後のパーベキューを楽しむに参加する人も多いようです。

行事には、母親、卒業生、これから琴中に入る予定の子どもの親も、賛助会員（年会費千円）として、参加することができます。特にスポーツ交流は、参加したいスポーツに前もって登録しておけば、日時をお知らせして、気軽に参加して頂けます。早速、11月2日(土)には、サッカー部との交流試合が予定されています。是非、多くの琴中関係者の参加を期待しています。

これからは、他の学校の「おやじの会」との交流を深め、情報を得て、より良い活動に行きたいそうです。問い合わせ、詳しいことは、

member@tsukamura-kyojo.net
email@shida-kouken-s.co.jp

